

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	校外実習	
科目基礎情報							
科目番号	0144			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造工学科 (情報コース)			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜紹介する						
担当教員	ザビル						
到達目標							
異なる業界の工場を見学することにより、機械系技術者に求められるものを理解する。あわせて社会人としての基礎的なマナーを身に着ける。また、見学内容および自己の考えが伝わる報告書を作成できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	社会人としてふさわしい態度で旅行期間を過ごせる。			社会人として許容される態度で旅行期間を過ごせる。		左記が出来ない	
評価項目2	見学報告書が正しく分かりやすい日本語で書かれている。			見学報告書が相手に伝わるように書かれている。		左記が出来ない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	事前に見学先企業の概要および求人情報を調べてから見学に臨み、その後、報告書を作成する。						
授業の進め方・方法	1. 事前に各社のホームページを見て見学先の概要を調べるとともに、進路支援システムで求人票の職務内容を確認しておく。 2. 見学先ではメモを取りながら説明者の話を聞くとともに、積極的に質問することによって理解を深める。 3. 見学後、報告書を提出する。その内容は次の通りである。(1)見学先について (①見学先の概要、②見学して分かったこと(質問の回答を含む)) (2)感想 (進路選択に関することを含む) 4. 成績は見学報告書70%、工場見学中の取組姿勢30%として総合評価し、60点以上で合格とする。						
注意点	1. 工場見学は相手の善意で受け入れて頂いているので、失礼がない身なりと態度で臨む。(スーツ着用。茶髪、ピアス等は厳禁) 2. 問題行動があれば、保護者に連絡して見学旅行は打ち切りとなる。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	移動方法の調査	移動方法を調査できる。			
		2週	移動方法の調査	自分の移動方法を自分自身で決定できる。			
		3週	訪問先企業調査	企業の概要および求人情報を理解する。			
		4週	訪問先企業調査	企業の概要および求人情報を理解する。			
		5週	工場見学 (1日目: 移動)	自分自身で宿泊先まで移動できる。			
		6週	工場見学 (2日目: 午前)	社会人としてふさわしい態度で見学旅行に臨む。			
		7週	工場見学 (2日目: 午後)	社会人としてふさわしい態度で見学旅行に臨む。			
		8週	工場見学 (3日目: 午前)	社会人としてふさわしい態度で見学旅行に臨む。			
	4thQ	9週	工場見学 (3日目: 午後)	社会人としてふさわしい態度で見学旅行に臨む。			
		10週	工場見学 (4日目: 移動)	自分自身で自宅まで移動できる。			
		11週	報告書作成	明瞭な見学報告書を作成する。			
		12週	報告書作成	明瞭な見学報告書を作成する。			
		13週	報告書作成	明瞭な見学報告書を作成する。			
		14週	報告書作成	明瞭な見学報告書を作成する。			
		15週	まとめ	準備から見学、報告書の提出を振り返る。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。		3	
				少なくとも一つの具体的なオフィススイート等を使って、文書作成や図表作成ができ、報告書やプレゼンテーション資料を作成できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	30	70	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	30	0	30
専門的能力	0	0	0	30	40	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0